

令和8年度

ふくしま

ゼロカーボンへの挑戦



事業所版

福島県では、2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、省エネ対策の徹底や再エネの普及拡大など気候変動対策の取組を進めるために、「ふくしまゼロカーボン宣言」、
「ふくしまゼロカーボンアワード 2026」への参加をお待ちしています。

みんなで!

ふくしまゼロカーボン宣言

気候変動対策に取り組むことを宣言!

申込期間

令和8年4月1日(水)~令和9年3月31日(水)

申込方法

電子申請

電子申請でかんたんに参加!
参加いただいた事業所にはポスターを配布します。

更にチャレンジ!

ふくしまゼロカーボンアワード 2026

モデルとなる気候変動対策の取組を表彰!

申込期間

令和8年6月1日(月)~令和8年7月31日(金)

申込方法

郵送または電子メール

優秀な取組を秋頃に表彰します。

問い合わせ先

福島県 環境共生課

電話 024-521-7813 FAX 024-521-7927

e-mail zerocarbonsengen_jigyosho@pref.fukushima.lg.jp



詳しくは裏面を
チェックしてみてね!

ゼロカーボン宣言

みんなで!

内容

以下の気候変動対策に取り組むことを宣言

【共通項目】

- 二酸化炭素排出量の見える化
- 節電・節水
- ★再生可能エネルギーの導入・活用
- ★再配達削減の取組

【産業部門】★設備の運用改善や省エネ設備の導入

【運輸部門】★自動車の燃費向上に向けた対策の実施

【民生業務部門】★照明設備の運用改善や省エネ設備の導入

★印の取組は〈Step1〉導入の検討、〈Step2〉実際の導入とし、まずは〈Step1〉から取り組みましょう。

参加特典

「ふくしまゼロカーボン宣言」ポスター、
二酸化炭素排出量見える化ツール

申込方法

右記の2次元コードを読み取り、電子申請
フォームにアクセスし、申し込みください。

※ 令和8年4月1日(水)～令和9年3月31日(水)
まで有効

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/r8-zero-carbonsengen-jigyosyo.html>



ふくしまゼロカーボン宣言



ふくしまゼロカーボンアワード 2026

更にチャレンジ!

内容

福島県2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県内のモデルとなる気候変動対策に率先して取り組んでいる事業所を産業、運輸、民生業務部門の3つの分野において表彰します。

審査について

審査会により、「産業」「運輸」「民生業務」の各部門における受賞者を決定します。

申込期間

令和8年6月1日(月)～令和8年7月31日(金)

申込方法

応募用紙及び取組内容をまとめた資料(A4サイズ1～2枚程度、任意様式)を申込期間内に郵送またはメールで提出してください。また、推薦による応募も可能です。

※ 応募用紙は右記2次元コード、下記URLよりダウンロードできます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/r8-zero-carbonhyosyo-jigyosyo.html>



ふくしまゼロカーボンアワード



提出先

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
福島県 環境共生課

zerocarbonsengen_jigyosho@pref.fukushima.lg.jp



優秀な取組は
秋頃開催予定の
表彰式にて
表彰します。

令和7年度最優秀受賞事業所の取組



産業部門



AGCエレクトロニクス株式会社
(郡山市)



オンサイト太陽光発電設備

- ・照明のLED化などの省エネ活動だけでなく、再生エネを順次導入しており、自社敷地内に設置した太陽光発電設備やオンサイトPPA(太陽光)に加え、新たにオフサイトPPA(太陽光、風力)を導入することで、温室効果ガス排出量を大幅に削減している点が評価された。
- ・また、空調機冷媒の計画的な代替フロンへの置き換えや廃棄物の削減、地域貢献活動など、多様な取組を行っている点が評価された。



運輸部門



郡山観光交通株式会社
(郡山市)



燃料電池自動車(FCV)タクシー

- ・県内初の燃料電池自動車(FCV)のタクシーの導入、FCVキッチンカーの開発と運用、水素利活用等に関する産官学連携の研究会への参画、国内外への水素関連イベントへの出展、県内の水素関連施設を巡るエコツーリズムの実施、県内小中高校向けの「水素環境授業」の実施など、脱炭素社会実現に向けて水素関連事業に積極的に取り組んでいる点が評価された。



民生業務部門



浅川町役場
(浅川町)



高齢者への熱中症対策講話

- ・省エネ診断を受診し、公共施設の温室効果ガス排出量の見える化を行いながら、電動車の導入やごみ減量化、再生エネ導入などの取組を積極的に進めている点が評価された。
- ・また、熱中症対策としてのクールビズ・ウォームビズの実施、クーリングシェルターの設置や高齢者への講話を行い、気候変動への適応策の取組を進めている点が評価された。